

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名						
柔道整復実技11						
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験	
柔道整復学科・夜間部	3年	3・4期	黄海 匡士		○	
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数
専門分野	柔道整復実技			実技	1	18
科目概要						
スポーツに関わる柔道整復師として怪我を正しく理解し、そして評価し、的確な治療方針・治療計画をたて基本的治療を行い治療し、復帰に導く方法を修得する						
目標						
一般目標(GIO) <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	様々なスポーツ外傷に対応できる柔道整復師になるために、その役割を理解し、急性外傷の鑑別診断、最適な処置法、および予防法の知識を身につける。					
到達目標(SBO) <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>	1、スポーツ現場における柔道整復師の役割を理解できるようになる。 2、様々なスポーツ外傷に対する鑑別診断をするための検査ができるようになる。 3、様々なスポーツ外傷に対する最適な処置法、および予防法が理解できるようになる。					
履修に必要な予備知識や技能						
解剖学、運動学、柔道整復学、柔道整復実技						
教科書・参考書						
柔道整復学、柔道整復学実技編、競技者の外傷予防						
受講上の注意						
不明な点は参考書で学習したり、授業中の説明はしっかり聞き積極的質問したりして疑問点を解決すること						
成績評価方法						
評価方法	定期試験	小テスト (テックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他
評価割合(%)	実技試験実施要項					(合計)
				100		100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物	
第1回	部位別(頭部)			理論編 P182~190	白衣	
第2回	部位別(頭部)			理論編 P182~191	白衣	
第3回	部位別(胸部)			理論編 P206~210	白衣	
第4回	部位別(胸部)			理論編 P206~211	白衣	
第5回	部位別(腰部)			理論編 P216~219	白衣	
第6回	部位別(腰部)			理論編 P216~220	白衣	
第7回	上肢軟部組織損傷の復習			理論編 P220~350	白衣	
第8回	上肢軟部組織損傷の復習			理論編 P220~351	白衣	
第9回	下肢軟部組織損傷の復習			理論編 P350~457	白衣	
第10回	下肢軟部組織損傷の復習			理論編 P350~458	白衣	
第11回	外傷予防に必要なコンディショニングの方法と実際			競技者の外傷予防 P45~97	白衣	
第12回	水泳における外傷予防と処置			競技者の外傷予防 P102~108	白衣	
第13回	コンタクトスポーツにおける外傷予防と処置			競技者の外傷予防 P97~102	白衣	
第14回	成長期の外傷予防			競技者の外傷予防 P121~124	白衣	
第15回	高齢者の外傷予防			競技者の外傷予防 P125~130	白衣	
第16回	試験				白衣	
第17回	試験				白衣	
第18回	スポーツ柔整まとめ				白衣	
実務経験と本講義との関連について						
北京、ロンドンオリンピック競泳競技帯同トレーナーの経験から、実際の症例を用いてスポーツ柔整実技について講義します						
メールアドレス						
kiumi-t@nihonisen.ac.jp						